

第2話:「地域まるごと家族って」の巻









そして、
大人になれば
昔自分が
してもらったように
子供たちに自身の
経験を語ったり

身体も心もイキイキと
いつまでも自分なりの
生きがいを持って
暮らしていける…

地域の
スポーツ大会に
参加したり
それまでしてこなかった
新しいことに取り組んだり

そんな世の中、
いいと思わない？

うん…

ただ、
まだまだ努力が必要だわ
でも、行先も
わからないまま
歩くのは大変でしょ？

めざす姿

という
夢や目標に向かって

だからこそ
みんなが
こうなりたい！

自分にできる事から
取り組んでいかないと
いけないの

だから
あなたたちは
まずはいろんな事を
知る事から
始めましょうね！

兵庫のめざす「創造的市民社会」とは、どんな姿？

めざす将来像 1 人と人のつながりで自立と安心を育む



家族で過ごす時間が増えて、互いの絆の強さを実感しているよ。
そして、身近な地域では、年齢や性別を超えたさまざまな交流が増えて、一つの家族のようにつながり、困った人も孤立しない、安全・安心のまちになっているんだ。

- 家族の互いの絆が実感でき、地域や職場でも安心して子どもを育てることができる。
- 高齢者などへの見守りや日常生活の相互支援が広がっている。
- 誰でも気軽に集える場、住まい方がたくさんできている。
- モノや情報が利用者の立場で提供され、誰もが生活しやすいまちづくりが進んでいる。



めざす将来像 2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する



誰もが一人ひとりにあった健康づくりに積極的に取り組んで、地域や社会の中で活躍しているわ。
個人や仲間どうして、自然、農や食を楽しんだり、歴史・文化・芸術・学びに親しんだり、誰もがいつまでも生き生きと暮らしているの。

- 病気になったり介護が必要なときに利用しやすいサービスが身近にある。
- スポーツ活動や生涯学習に気軽に参加できる場や仲間がある。
- 都市から農村への住み替えや二地域居住が広がっている。
- 誰もが生涯自分なりの役割を地域で果たしながら充実感を感じられている。



めざす将来像 3 次代を支え挑戦する人を創る



いろいろな体験、学び、地域の大人との交流を通じて、子どもたちが命の大切さや生きる力をしっかりと身につけているわ。そして兵庫で育った人材が世界各地で活躍しているの。
もちろん地域づくりに取り組む人や専門家もたくさん育てているわ。

- 子どもたちが、しごとや地域について、生き生き学んでいる。
- 地域社会の一員として役割を主体的に果たす次代の担い手が育っている。
- 兵庫発の芸術家、デザイナーなどが世界で活躍している。
- 地球規模の課題解決に取り組む人々の国境を越えたネットワークができています。



みんなで取り組む 協働シナリオ1

つながりによる家族・地域の再生

- ◆家族で過ごす機会・時間づくりや、隣居・近居など、家族がつながる多様な住まい方を広げよう
- ◆空き空間を活用した子どもの遊び場づくりや親同士のネットワークで地域ぐるみの子育てを応援しよう
- ◆身近なたまり場空間づくりや助け合って暮らす住まい方など地域での人のつながりを再生しよう
- ◆自殺防止に向けた相談機関とも連携して、孤立を防ぐセーフティネットを充実させよう



地域の高齢者に食事を届けたり見守りを行う活動を地域の住民と一緒に広げていきたいね。



みんなで取り組む 協働シナリオ2

生涯現役で生き生き活躍できるしくみと場づくり

- ◆通所・泊・訪問を組み合わせた在宅での安心介護をすすめよう
- ◆空き空間を生かしたアトリエ・ギャラリーなど、自主的な芸術活動の場をつくろう
- ◆二地域居住や楽農生活など、農や自然を楽しむライフスタイルを応援しよう
- ◆定年の廃止・延長など、知恵や経験を生かして生涯現役で活躍できるしくみを築こう



身内だけで介護するのは大変。同じ地域の中で介護をする人どうしが交流する場を持つことも大切ね。



みんなで取り組む 協働シナリオ3

地域と世界で活躍する次代の人づくり

- ◆阪神・淡路大震災などから得た「命の大切さ」「支え合いの大切さ」を学ぶ機会を増やそう
- ◆郊外の遊休農地の活用など、自然や農を学ぶ体験型教育を広く展開しよう
- ◆市民性を高める教育の推進など、次代の地域づくりを支える多様な人材を育てよう
- ◆多言語・多文化教育の推進など、グローバルな共生力・協調性を身につけた人材を育てよう



グローバルな共生力を持つ人を育てるために、海外からの留学生や外国人学校と交流することも考えられるわね。



次は、「しごと活性社会」を見てみよう！